

レセプタント請負業務における新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

令和2年6月

株式会社ロイヤルバンケット

新型コロナウイルス感染症の拡散を防止するため、バンケットレセプタント請負業においても、ホテル、会館の宴会場や結婚式・披露宴等のイベントの場に於けるお客様への接遇業務にあたっての感染防止ガイドラインを作成し、3密（密閉・密集・密接）を避け、衛生管理・健康管理を徹底し、お客様及びスタッフの安心・安全を確保し、新しい生活様式に適応しながらバンケットレセプタント業務を実施してまいります。

■レセプタント手配について

- レセプタントスタッフが下記の条件に該当する場合は勤務不可・自宅待機とする
 - ◇新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ◇同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
 - ◇過去14日以内に入国制限・入国後の観察機関を必要とされる国・地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ◇当日、発熱や風邪の症状がある場合、速やかにホテルに報告し指示を仰ぐ
- ホテル・会館、お客様から行動指定があった場合は、その基準・要望に沿って手配する
- レセプタントスタッフが感染した場合、即時に保健所に報告し、求められる情報の開示等保健所の指示に従う。また、感染経路特定の為、発注先や関係者から関連者リストを求められた場合に備え、個人情報の取扱いに留意しながら、勤務者一覧の提出体制を整えておく
- 当日、スタッフの健康状態の確認を行う（体調管理票の提出可能）

■ホテル・会館への入館、施設内での行動について

- マスク又はマウスシールド及びフェイスシールドの着用、手指消毒の徹底（手指消毒については、手洗いを前提としつつ、手洗いが十分に行うことが出来ない場合には消毒液を活用する）
 - ◇マスク着用しソーシャルディスタンスを保ち施設まで移動し、施設入館時に手指消毒を実施
 - ◇要望によりスタッフの体調管理票の提出
 - 控室・待機中の密の回避
 - ◇最低1m以上（できれば2m）のソーシャルディスタンスを保つ
 - ◇宴会場に入る前に再度手洗い・手指消毒の徹底
 - ◇ホテル・会館の担当者との打ち合わせは十分な間隔を保ち、端的に行う
- ※入館、退館の仕方については、各ホテル・会館の指示に従う

■宴会場内について

1. マスク又はマウスシールド及びフェイスシールドを適切に着用する
◇開催場所やお客様との関係で別途対応が必要な場合はその都度個別に相談する
2. お客様やスタッフ間での接し方
◇お客様、スタッフ間での至近距離での会話は、飛沫感染のリスクが高いため、十分な間隔（最低1 m以上、可能であれば2 m）を保ち、お客様の正面に立っての会話を避ける
◇主催者及び幹事様との名刺交換等はお客様に合わせて対応する
◇ドリンクの受け渡しやお酌については開催会場やお客様の指示に基づき対応する
◇グラス等の受け渡しは手渡しを極力回避し、トレンチを使用し、お客様に受け取っていただく
◇ウイスキー・焼酎など水割り等を作るときはグラスを新しいものと交換し、マドラー使用による感染防止を徹底する
◇トング、マドラーの定期的な交換を行う、又は除菌できるものを設置していただく
◇当面の間、宴会中のカラオケについてはハイリスクの為、自粛する
◇お酒等の回し飲み（返盃）行為はお断りする
◇お客様との握手等接触を行わない

■レセプタントスタッフの身だしなみ等について

- ◇毛髪が落ちないようにセットを徹底する
- ◇顔・髪の毛・耳を触らない
- ◇オープンナーは個別のものを使用し、貸し借りは行わず、こまめに消毒する
- ◇コスチューム・衣類はこまめに洗濯、除菌する
- ◇消毒液を持参する

■会社・レセプタントスタッフ個人が行うべき感染予防対策について

1. スタッフに対し感染防止対策の重要性を理解させ、日常生活を含む行動変容を促す。
感染症対策専門家会議が発表している「新しい生活様式等」及び、日本バンケット事業協同組合ガイドライン、当社感染防止ガイドラインを周知徹底する
2. 日々新型コロナウイルス感染症に関する最新の知見取得を心掛け、感染防止策を実施し、事務所内においても予防策を講じる
3. 日々のマスク着用・手洗い・手指消毒・ソーシャルディスタンスの徹底
4. 発熱や風邪、体調不良の症状がある場合及び、新型コロナウイルス感染症の陽性者、関連者等との濃厚接触があった場合は速やかに責任者に連絡を取り、指示に従う
5. 会社がスタッフへの健康管理リストの作成等、徹底して管理できる体制を整備する

尚、株式会社ロイヤルバンケットは当ガイドラインを活用し、安心・安全確保に努めますが、今後の社会状況により必要に応じて内容を見直してまいります